

# HAKONE SEMINAR

vol. 33 (2017)

(Graph と 3次元多様体の研究)

2017.10.23.- 26.

於  
東洋大学箱根保養所

## HAKONE SEMINAR 33

(2017)

### 序

この報告集は 2017 年 10 月 23 日から 26 日までの 4 日間、東洋大学箱根保養所において開催された「第 40 回箱根セミナー(Graph と 3 次元多様体の研究)」で講演されたものの記録である。

なおこの研究会の情報(過去の記録も含めて)が [www.hakone-seminar.com](http://www.hakone-seminar.com) にありますのでご利用ください。

代表者 山下 正勝 (東洋大学\*)

世話人 河野 正晴 (北見工大)

世話人 津久井 康之

### セミナー参加者

(あいうえお順)

石井 一平

河野 正晴 (北見工大)

小林 一章 (東京女子大\*)

古宇田悠哉(広島大理)

谷口 太聖 (慶應高校)

津久井康之

山下 正勝 (東洋大\*)

## “箱根”セミナー40年

箱根に“ ”がつくのは最初の頃、箱根（強羅 原荘）、大磯アカデミーハウス、神戸兵庫共済会館（3回）、伊東（相模工大（現、湘南工科大）一碧荘）と転々としたからです。たしか一碧荘の帰りに山下さんの案内で出来たばかりの東洋大箱根保養所を見に来て、保養所の素晴らしさから来年は此処にしようということになりました。

そんなわけで第7回からは保養所の快適性と全国から集まるときの交通の至便さからずっとこの東洋大箱根保養所になり、以来34年東洋大の山下さんにはお世話になりっぱなしです。その頃私は札幌に居り、池田さんは神戸大に居て、私は実家が東京なので、東京からの参加でしたが、関西からは便利だったと思います。その後関西から池田さんの他、渋谷さん、河野さん、中西さん等多数参加されるようになりました。山下さんと事務一切を担当してくださっている津久井さんには深く感謝する次第です。

さて、今年は“箱根”セミナー40年です。生まれたばかりの赤ん坊でも40歳の中年になるわけで、“箱根”セミナー30年には本間先生、村杉先生が元気に参加されていましたが、本間先生は相変わらずお元気ですが、今年2017年6月には本間先生と同年の私の恩師野口先生がお亡くなりになりました。しかも90歳越えで。この40年を振り返ると、私の歴史だけでも、北大から東京女子大に移り、そこも定年退職になり、退職後10年近くにもなりました。私の弟子であった河野さんも2017年度末で定年退職だそうです。それに比べて研究のお粗末さは目を覆うばかりです（もちろん私の）。盟友、土肥さんも亡くなりました。あの高い背を丸めて、にこにこ、ぼそぼそと話していたのが目に浮かびます。

“箱根”セミナー30年の文末に「“箱根”セミナー40年に向けて頑張り通すしか無いのです。」と書きましたが、やったではないですか。しかし、この10年さすがに本間、村杉両先生はご出席しなくなりましたが、その他のメンバーはほとんど不動で（という事は新参加者がいないという事でもあります。）続いてしまいました。

しかし来年北見セミナーはなくなるでしょう。上智セミナーも横山さんの健康の理由から東洋大白山セミナーに変わりました。少しずつ店じまいが忍び寄ってきます。

「“箱根”セミナー50年に向けて頑張りましょう。」と書くことはやめにしましょう。もし「“箱根”セミナー50年」を書くところでは物故者一覧ということになりかねませんから。

HAKONE SEMINAR 33  
(2017)

目 次

1. 小林 一章 (東京女子大 \*) (1)  
「T S A をみたす領域数  $\{R_k\}$  について」
2. 石井 一平 (7)  
「 $S^3$  内の (1,1)-結び目の DS-diagram による表示について」
3. 河野 正晴 (北見工大) (39)  
「DS-knot 予想について (3)」
4. 津久井 康之 (61)  
「Corrections to “A list of dual cross graphs”」